



# ～若き心 集まる場所～

No.12

茅ヶ崎市立鶴が台中学校長 力石 裕司

毎月お届けする学校だよりとしては今年度最後となります。少しでも保護者の皆さんに興味をもって読んでいただきたいという思いで発行させていただきました。一年間、お付き合いいただきありがとうございました！

## 進路決定に向けて

1月の私立高校等の推薦入試に始まり、2月28日には県立高校の入学者選抜の合格発表があり、3年生の4月からの進路先が決まってくるところです。神奈川県公立高校では、昨年度から「インターネット出願システム」が導入されており、今年度は昨年度の課題を受けた改善もなされ、本校においても、大きなトラブル等もなく進めることができました。1、2年生の保護者の皆様も、来年度、再来年度に向けて、インターネット等で神奈川県公立高等学校の選抜制度や各公立・私立高校等の特色など、早い段階で調べてお子様と話題にしてみてください。



## 3月・・・旅立ちの季節です

今年度も残すところわずかととなり、12日には第57回卒業証書授与式を行います。3年生にとって台中の門を通る日も数えるほどとなりました。3年生はこの3年間、台中でどのような思い出を積み重ねてきたでしょうか。毎日が楽しいことばかりだったわけではないと思いますが、4月から始まる新たなステージで、大きな壁にぶつかったときに、この台中での様々な経験がその壁を乗り越えるための大きな自信となってくれればと思うばかりです。



保護者の皆さんはご自身の卒業式のことを覚えていますか？私は40年も前のことだからというわけではないですが、記憶があいまいです。卒業式だけではなく、修学旅行や様々な行事の記憶もほとんどありません。なぜか、部活動(バスケットボール部)の県大会出場をかけた試合の延長戦で1点差で負けて引退した瞬間だけは忘れられない記憶として今でも残っています・・・。

一方、私が教師になってからの卒業式は、25年ほど前の初めての卒業式も含め、鮮明な記憶として残っています。体育大会のあいさつで話しましたが、この鮮明な記憶が「思い出」と呼べるのかもしれませんが、私の教師としての幸せは、当然日々の生徒たちとの関りにもありましたが、共に過ごした学校での様々な出来事を卒業していった生徒たちと共有し、彼らが大人になって再会し、様々な「思い出」を語り合えることです。私は、これまで3年生の担任として、6回の卒業式を経験しました。(内4回がこの鶴が台中ですが・・・)直接学年を受け持った生徒は900人以上いますが、当然今でも連絡をくれたり、会ったりする卒業生は一部です。しかし、彼らとの会話の中で、多くの卒業生の話題が出て、当時のことや今何をしているかなど、様々なことを知ることができ、嬉しい気持ちになります。

私は卒業式を迎える時、教え子たちが、それぞれの道を進む中で、「強く、優しく、かっこよく」生きてほしいという思いをいつも伝えてきました。そして卒業式当日の証書授与の場面では、その思いと「幸せになってほしい」という気持ちを込めて、一人一人の呼名を行いました。中学校3年生の担任は、保護者の次にその生徒の幸せを本気で願っている大人であると信じています。

本校3学年の各学級担任も同じ気持ちで3月12日を迎えるはずですが、卒業生全員が、本気の思いの担任の呼名に、心を込めた返事を聞かせてくれることを楽しみにしています。そして、数年後、数十年後に卒業生たちが仲間や学年の先生方と再会し、この鶴が台中での様々な思い出を語り合える日が来ることを祈っています。

卒業生の保護者の皆様には、是非一人一人の旅立ちの日を温かく見守っていただければ幸いです。



ちがき美術 画のえし麻呂 & ミ-

# きょういくこうえんかい インクルーシブ教育講演会

2月14日、1、2年生を対象に神奈川県教育委員会インクルーシブ教育推進課の指導主事を講師として「インクルーシブ教育講演会」を開催しました。

講師からは、「インクルーシブ」の意味を理解できるよう、様々な視点から話していただき、多くの生徒が頷きながら聞いていました。講師のファシリテートで、自分の考えを周囲と共有し、その後、何人かの生徒が全体で意見や考えを発表する場面がありました。どの生徒のどんな意見に対しても、発言が終わると、全体から自然と拍手が聞こえ、日頃の授業内での取組の成果を感じられるとともに、今の台中生に「お互いの存在を大切にす



る」気持ちが育っていると思えました。この講演会をきっかけに、多くの生徒がこれまでの自分の考えや他者との関りなどを見つめ直し、少しずつ「インクルーシブ」な視点での言葉が聞かれたり行動が見られたりようになることを期待していますが、私たち教職員、保護者、地域の大人も、意識していく必要性を強く感じました。

## たいいくかんくうちようこうじかんりよう 体育館空調工事完了

12月から始まった体育館のエアコン設置工事が終わり、体育の授業や部活動、集会等で体育館が使用できるようになりました。12日の卒業式も、天候や気温に左右されず、快適に執り行えることとなります。何よりも、次年度以降、暑い時期の集会や部活動などにおいて、熱中症の危険性を大きく抑えることができます。茅ヶ崎市では、7年度予算に市立小学校の体育館のエアコン工事費を計上しました。この工事が終わると、県内19市の中で唯一全ての公立小・中学校の体育館にエアコンが入ることとなります。今年度と来年度の中学校給食導入、GIGAスクール構想における一人一台タブレット端末の配備など、近年、茅ヶ崎市が学校教育にあてる予算は非常に大きくなってきています。ハード面の整備が進む中、本校としても、質の高い学校教育の実現に向けて、授業改善をはじめとしたさまざまな取組をさらに進めていく必要性を強く感じています。

そうだ、“教室”へ行こう!



授業の様子・先生方のこだわりなどを発信します!

今年度最後となりますが、2月26日、今年度から教師人生のスタートをきった二人の先生の保護者の方をお招きして、「教員授業参観」を実施しました。私も子どもたちが成人し、一人は今年度から中学校の体育教師になりました。親として、子どもの働く姿を見る機会はあまりありませんが、学校だからこそできるのではと教頭先生が提案し、実現しました。

授業の様子  
の写りが入  
ります。

二人とも、気恥ずかしさや緊張もあったかもしれませんが、「いつも通り」生徒たちと楽しく授業をする姿を見せてくれました。授業後には、二人の指導教員と、校長、教頭、保護者の方と給食をとりながら、二人の一年間の様子を伝えさせていただき、保護者の方からも感想をいただきました。

授業の様子  
の写りが入  
ります。

### 先生の保護者より

### 先生の保護者より

昔の授業スタイルとの違いに驚きました。また、普段家庭での姿と違う面を見ることができました。本人が素敵な英語の先生との出会って教師を目指したように、生徒に影響を与えられる英語の先生になってほしいです。

自分が生徒だったころの体育の授業と違い、「考えること」を大切に授業をした。生徒の皆さんが素直で挨拶ができている印象です。今の初心を忘れずに、生徒のことを大事にできる教師として、多くの経験を積み重ねてほしいです。

### 教頭先生のつぶやき・・・

私の教員人生は、大学卒業後、実家のある三重県でスタートしました。1年目のある日、母が職場に荷物を届けてくれたことがあり、その際、当時の校長先生の計らいで、母が私の授業を参観することになりました。母は看護師をしていたため、昼夜を問わず働き、私と妹を大学まで行かせてくれました。長年の苦労から感慨深かったのか、私の働く姿を見た母が廊下で涙を流している姿が今でも記憶に残っています。今回、二人の先生の保護者の方々も我が子の姿に、親としてこれまで育ててきた歳月を思い返す時間になり、この「授業参観」が二人にとって少しでも親孝行になっていたら嬉しいです。